

夏場のみかんは私にお任せ！「ハウスみかん」



1. 果実の出荷時期と特長

出荷時期	5月中旬から10月上旬まで
特長	中晩柑類が終わる頃から露地栽培の温州みかんが出始める頃まで出荷が続き、果皮、袋ともに薄く、甘味も強くなっています。
備考	施設内の加温開始時期が早いほど出荷時期も早くなります。品種は、ほとんどが「宮川早生」で、一部、「興津早生」、「上野早生」もあります。

2. 果実の食べやすさ

果皮	<p>①：手で簡単にむけます。</p> <p>②：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。</p> <p>③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。</p>
袋	<p>①：薄く、食べてもほとんど気になりません。</p> <p>②：やや薄く、袋ごと食べることができます。</p> <p>③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。</p>
種	<p>①：ありません（まれに少量あることもあります）。</p> <p>②：あります。</p>

3. 来歴

- （1）「宮川早生」は、在来系温州みかんの枝変わりであり、詳細は「宮川早生」の情報シートを参照下さい。
- （2）「興津早生」は、1940年に静岡県興津町（現：静岡市）の農林省園芸試験場（現：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構）で、「宮川早生」（♀）と「カラタチ」（♂）の珠心胚実生から生まれました。
- （3）「上野早生」は、1970年に佐賀県浜玉町（現：唐津市）の上野寿彦氏が「宮川早生」の枝変わりとして発見しました。